

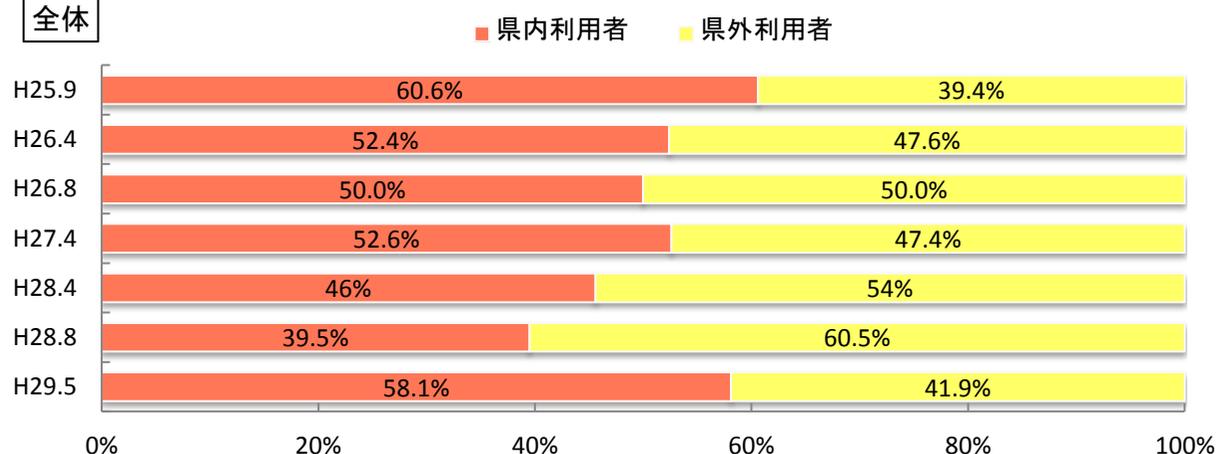
平成29年度 第1回 信州まつもと空港搭乗者アンケート調査 (札幌便・福岡便) (平成29年5月17日～23日) における利用者の動向

- | | |
|----------|-----------------------------|
| 1 実施期間 | 平成29年5月17日(水)～23日(火) |
| 2 調査方法 | 信州まつもと空港搭乗待合室で配布し同室内で回収する方式 |
| 3 調査対象 | 信州まつもと空港定期便の出発便の搭乗者 |
| 4 有効回収票数 | 札幌便 235票 福岡便 572票 合計 807票 |

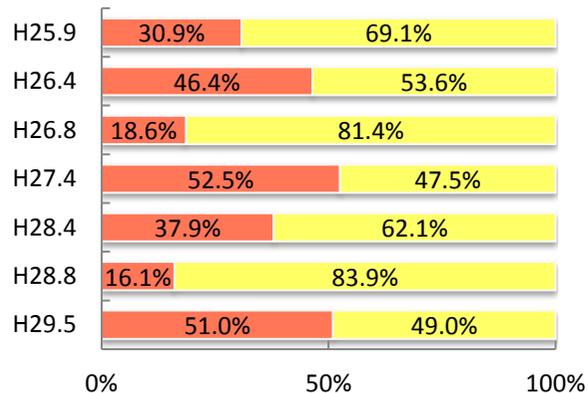
【県内・県外利用者の状況】

定期便全体では、県内利用者の割合が58.1%、県外利用者の割合が41.9%となった。路線別では、福岡便では、県内利用者の割合が51.0%、県外利用者の割合が49.0%となっており、ほぼ半々という結果となった。札幌便では、県内利用者の割合が73.5%、県外利用者の割合が24.7%となっており、過去の調査と同様に県内利用者の割合が高くなっている。

全体



福岡便



札幌便

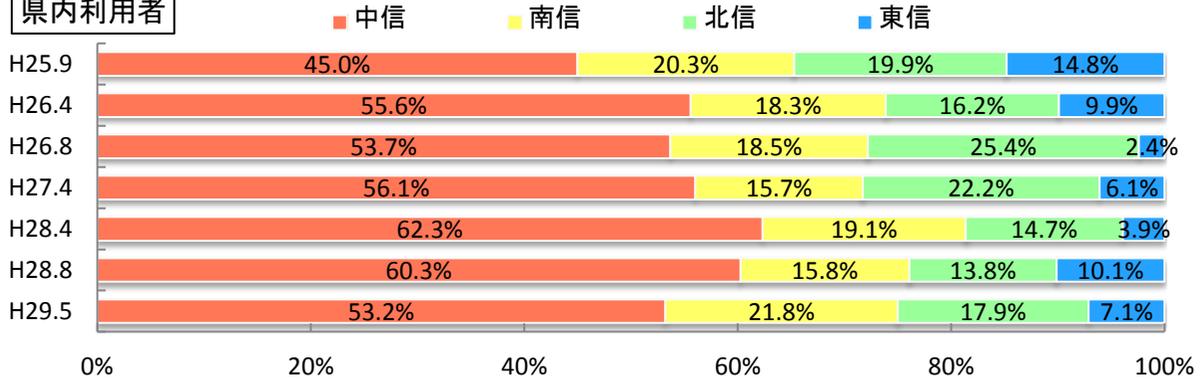


【利用者の居住地】

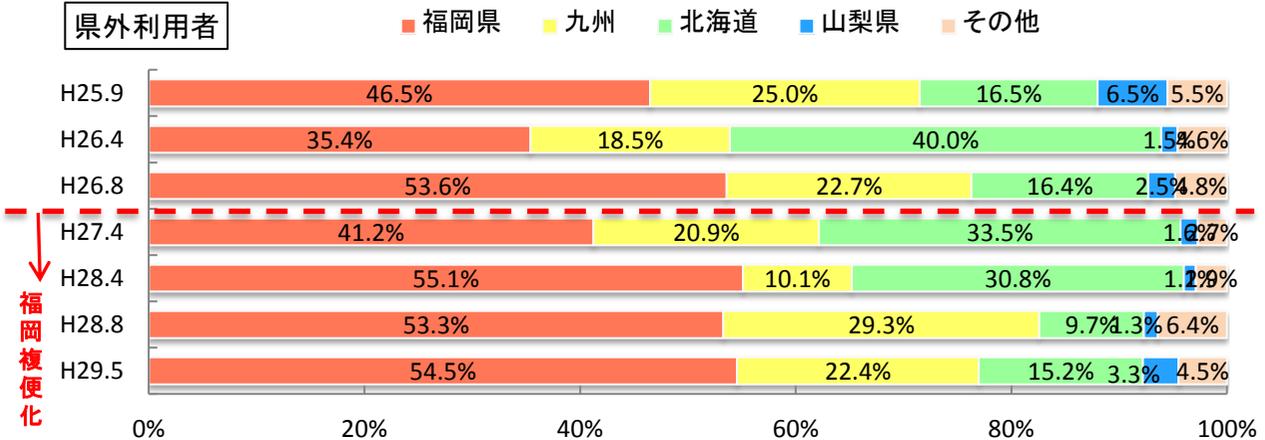
居住地地別に見ると、県内利用者では中信が前回7ポイント落としたものの53.2%と半数以上を占めている。

また、南信が近年最高の21.8%、北信も17.9%と前回より増加したが、東信の利用者は伸びていない。県外利用者では福岡便複雑化の定着により、福岡県を含めた九州地区からの利用者が合計76.9%と高い傾向を示している。なお、山梨県からの利用者は3.3%と微増の状態である。

県内利用者



県外利用者

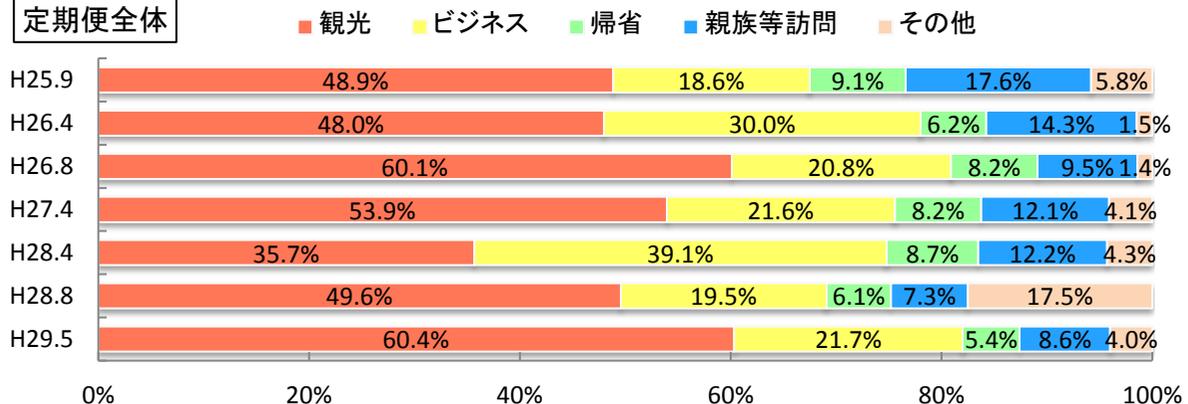


【旅行目的】

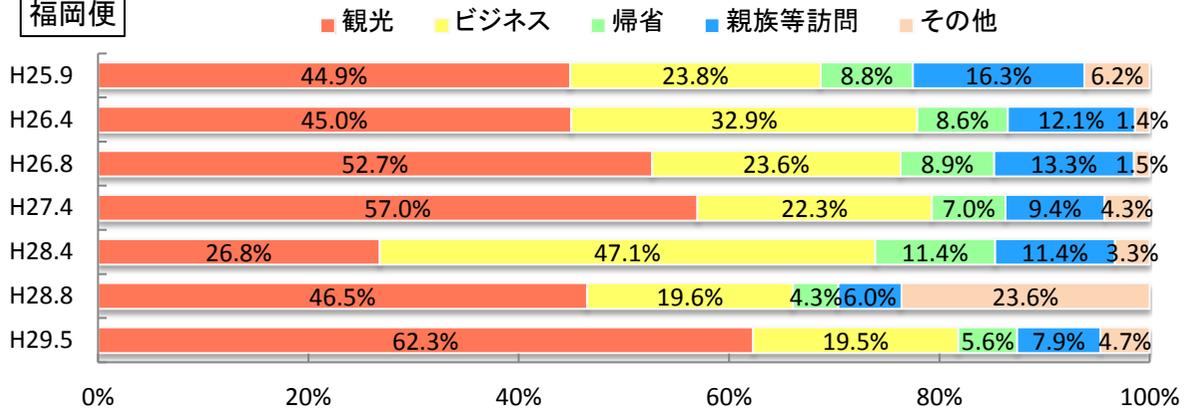
旅行目的については、定期便全体で観光が60.4%となっており、近年最も高い割合を示す結果となった。一方、ビジネスが21.7%となっており、1年前の同時期調査と比較して、低い割合を示す結果となった。

路線別で見ると、福岡便では、観光目的が62.3%と、高い割合を示しており、札幌便でも、観光目的が55.8%と約半数を占めている。

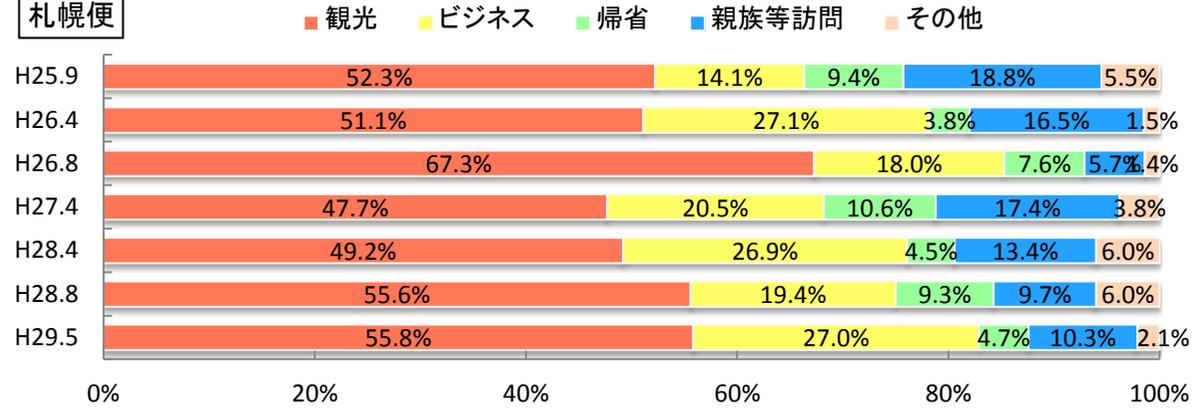
定期便全体



福岡便



札幌便



【参考:その他調査項目】

